

埼玉県における 犯罪被害者支援施策の取組状況

～ 犯罪被害者支援ワンストップサービスの開始 ～



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県県民生活部防犯・交通安全課

- 1 埼玉県現状
 - (1) 県としての取組状況
 - (2) 犯罪被害者支援業務の状況
- 2 ワンストップサービスの開始
 - (1) 概要
 - (2) 期待される効果
- 3 今後の課題

1 埼玉県の現状

(1) 県としての取組状況

- ・平成18年度～犯罪被害者支援担当を配置
(兼務)
- ・平成19年度～市町村研修会を実施
- ・平成23年度～被害者支援のワンストップ化
非常勤職員1名を配置

※防犯・交通安全課の体制

課長—副課長—
└─交通担当(10人)
└─防犯担当(7人)

1 埼玉県の現状

(2) 犯罪被害者支援業務の状況(H22年)

・県警察(犯罪被害者相談センター)

区分	相談	カウンセリング	直接的支援	その他	合計
件数	954	328	124	375	1,781

・民間団体(犯罪被害者援助センター)

区分	電話相談	面接相談	弁護士相談	直接的支援	合計
件数	482	82	41	337	942

※刑法犯認知件数 ～10万6228件(全国4位)

※重要犯罪認知件数～ 989件(全国3位)

(強姦73件、強制わいせつ462件)

2 ワンストップサービスの開始

(1) 概要

これまでの現状

県

防犯・交通安全課

- 県庁第3庁舎
- 1人（犯罪被害者支援担当）
- 市町村担当者研修会

警

犯罪被害者支援室 （犯罪被害者相談センター）

- 民間オフィス（153㎡）
- 15人
- 事件・捜査に伴う経済・精神面等の支援

民

（社）埼玉犯罪被害者援助センター

- 北浦和地方庁舎（97㎡）
- 6人、登録ボランティア10人
- 病院の付添等生活上の支援

相談窓口の一元化

県武蔵浦和合同庁舎 （ラムザタワー3階）

さいたま市南区
JR武蔵浦和駅徒歩3分

第1会議室
<151㎡>

埼玉県

民間団体

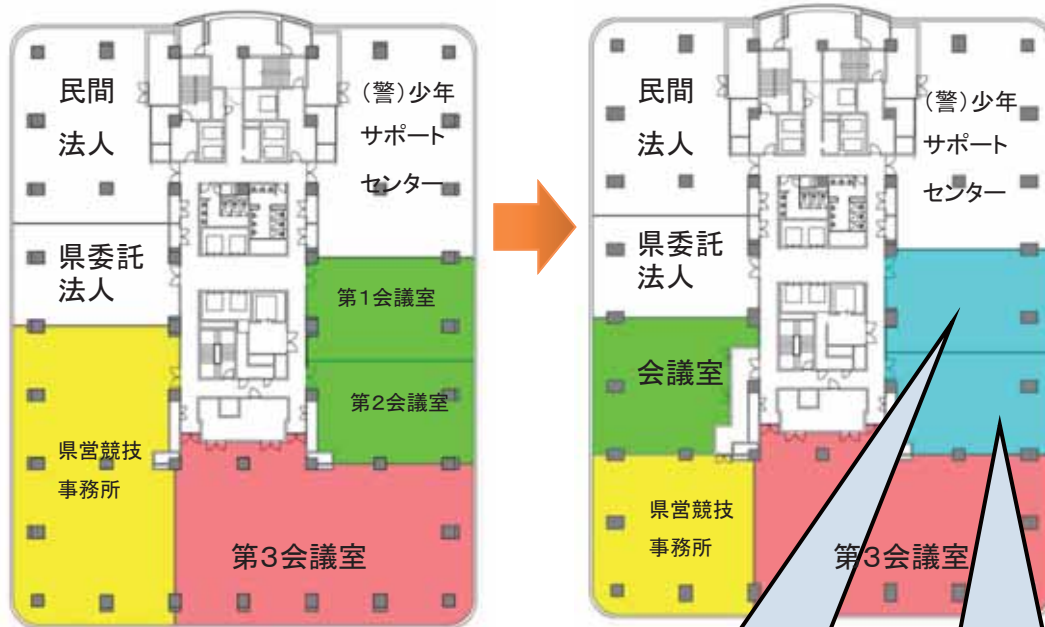
第2会議室
<151㎡>

警察本部

2 ワンストップサービスの開始(1)概要

レイアウト

県武蔵浦和合同庁舎（ラムザタワー3階）

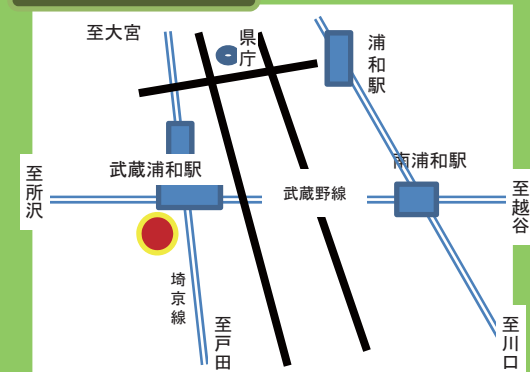


・防犯・交通安全課
・犯罪被害者援助センター

県警犯罪被害者支援室
(犯罪被害者相談センター)

アクセス

案内図



2 ワンストップサービスの開始

趣旨

犯罪被害者の相談窓口を一元化し、支援のワンストップ化を図ることで、個々の犯罪被害者の実情に即した適時適切な支援を実現する。

体制

- 犯罪被害者の状況とニーズを把握
- 他関係機関の支援施策も含め、協働して支援を提供

被害者

相談

支援



ラムザタワー3階

連携調整

- 県の関係部局
- 県警の関係部局

- 市町村
- 医療機関
- 検察庁
- 裁判所
- 法テラス
- 弁護士会 等

2 ワンストップサービスの開始

埼玉県 防犯・交通安全課分室（犯罪被害者支援担当）

（市町村を包括する総合的な行政機関の立場）

- 被害者支援の理解を深める広報・啓発
- 相談に対する情報提供・助言
- 市町村・関係機関との連携・調整



2 ワンストップサービスの開始

警察本部 犯罪被害者支援室（犯罪被害者相談センター）

（警察行政を円滑に執行する立場）

- 被害者相談、カウンセリング（臨床心理士）
- 被害者への情報提供
- 犯罪被害給付制度の申請受付
- 捜査過程における被害者の負担軽減
- 被害者の安全確保



2 ワンストップサービスの開始

民間団体 公益社団法人 埼玉犯罪被害者援助センター

(県や警察をきめ細かく補完する立場)

- 被害者相談、カウンセリング (相談員)
- 弁護士による無料法律相談
- 病院、裁判所等への付添
- 生活支援 (買物代行、役所への届出等)
- 被害者の会等の活動支援



2 ワンストップサービスの開始

(2) 期待される効果

① 犯罪被害者等の負担軽減

② 三者協議（県・県警・民間）の早期実施・
個々の実情に応じた支援内容の早期確立

③ 問題解決までの所要日数の短縮

- 県民への周知と理解を深める
- 市町村や関係機関との総合的な調整や連携の強化
- 犯罪被害者に対する支援内容の更なる充実

ご清聴ありがとうございました



民間団体



埼玉県



警察本部